

(2) お昼の読書

お昼の読書タイム

荒川区立大門小学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校全学年
2	実施時期 : 通年(4月～3月)月、火、木、金 13時25分から13時40分
3	概要 : 週に4日、15分間、全校児童が一斉に読書を行う。 教師も一緒に読書を行う。
4	内容 【お昼読書の流れ】 ① 給食→昼休み→清掃 という生活時程の後の読書タイム。 月、火、木、金 13時25分から13時40分の15分間全校児童一斉に読書を行う。 落ち着いた時間を取ることで、午後の授業に円滑に移行することができるねらいも含まれる。 ② 読書する本の内容 学校図書館から借りた本、自分の持ち本、学級文庫の本などから読む。(マンガは読まない。) ③ 今後の課題 ・本好きの子供を育てる。 ・読んだ本の感想を交流し、好きなジャンルを増やす。 ・図書ボランティアの方や教師の読み聞かせを、読書タイムにさらに取り入れる。 ・物語や絵本だけではなく、調べる学習に関する本も読めるような環境をつくる。
5	参加者の反応【教師の感想】 ・給食、昼休み、清掃と児童が移動する時間が続く。清掃終了後、全校児童が一斉に静かに読書する時間があることで落ち着くことができる。 ・学校図書館利用者や貸し出し冊数が増えた。 ・本が好きな子供が増えつつある。
6	連携した諸機関 荒川区教育委員会学校図書館支援室